

日 本 語



パ ー ト ナ ー

外国語は
話せなくて
大丈夫！

養 成 講 座

日本語教室ボランティアとしての一歩を踏み出してみませんか？

Viva おかざき！！では、対話を中心とした行動・体験型の日本語教室を実施しています。学習者と一緒に活動して、日本語をサポートする学習補助ボランティア“日本語パートナー”の養成講座を行います。「地域の外国人と交流してみたいけど自分にできるのかな？」という初心者の方でも大歓迎です。本講座では、ワークショップや日本語教室に実際に参加しながら、日本語パートナーとして必要な知識やスキルを磨いていきます。

期 間：2016年5月29日(日)～7月31日(日)の全7回 ※詳細および、日時と会場は裏面をご覧ください。

場 所：連尺学区市民ホーム（岡崎市魚町1丁目4番地）

岡崎市図書館交流プラザリぶら（岡崎市康生通西4丁目71番地）



主催：国際交流 NGO Viva おかざき！！ 後援：岡崎市

ワークショップと実際の日本語教室での実践活動を通して、
“日本語パートナー”として大切なことを学んでいくプログラムです！

	【日時】	【会場】	【内容】
1	2016年 5月29日(日) 10:00-12:00	連尺学区市民ホーム	<オリエンテーション> ・目的確認 ・学ぶべき視点・心構えについて
2	2016年 6月12日(日) 13:30-17:30 日本語教室 13:30-16:30 ふりかえり 16:30-17:30	岡崎市図書館交流プラザ りぶら会議室 102	<教室活動 参加> ・日本語教室の様子をつかむ ・参加して感じたことの共有
3	2016年 6月19日(日) 10:00-12:00	連尺学区市民ホーム	<ワークショップ①> 「コミュニケーション・聴く力」 講師：若林かおり氏 (株式会社ナチュラル・コーチ 代表取締役)
4	2016年 6月26日(日) 10:00-12:00	連尺学区市民ホーム	<ワークショップ②> 「発話を引き出す教室活動」 講師：千葉月香氏(名古屋大学大学院)
5	2016年 6月26日(日) 7月24日(日) 13:30-17:30 ※どちらか1日か、両日	岡崎市図書館交流プラザ りぶら会議室 102	<実践 教室活動①> ・講座型授業での実践活動 ・参加して感じたことの共有
6	2016年 7月3日(日) 7月17日(日) 13:30-17:30 ※どちらか1日か、両日	岡崎市図書館交流プラザ りぶら会議室 102	<実践 教室活動②> ・対話型授業での実践活動 ・参加して感じたことの共有
7	2016年 7月31日(日) 10:00-12:00	連尺学区市民ホーム	<ワークショップ③> ・全体ふりかえり

対 象：日本語教育・多文化共生に関心のある方。(国籍・年齢・経験は問いません)

定 員：各回20名(先着順)

※原則、全回参加できる方。(事前に参加できない日がある場合は、ご相談ください。)

参加費：無料

お問合せ・お申込み先：viva.okazaki@gmail.com (担当：長尾)

申込み方法：件名に「養成講座 申込み」、本文に①名前、②所属、③電話番号、④参加動機を明記の上、上記メールアドレスまでお送りください。

Viva つながるセミナー
Viva Tsunagaru Seminar



1

「まちづくりから学ぼう！」
Learn from community design.
How to connect the Japanese classroom and community.

日本語教室

と

地域

の

つながり

を一緒に学びましょう。

域のつながり方のヒント

聞いて、日本語教室と地

行っているプロの話を

岡崎市でまちづくりを

大きく広がります。

きることの可能性は大

とつながることので

語教室が、もっと地域

多様な人が集まる日本

2016年10月30日(日) 9:30-11:30

参加無料(先着20名)

対象:日本語教育、まちづくりに興味のある人 ※他分野からの参加も大歓迎!

会場:連尺学区市民ホーム 2階会議室(岡崎市魚町1丁目4番地)

問合せ・申込み先: viva.okazaki@gmail.com (担当:長尾)

申込み方法:件名に「Viva つながるセミナー申込み」、本文に氏名・所属・連絡先(電話・メール)・受講動機を記入の上、上記のメールアドレスまでお送りください。

次回予告 ☞ Viva つながるセミナー2 2016年12月11日(日) 13:00-17:00 開催決定!

>>> 「日本語教育と地域のつながりを生むプログラムデザイン」 <<<

講師:中脇健児氏(場とコトLAB 代表) 会場:岡崎市図書館交流プラザらぶら102会議室



講師

天野裕氏

(NPO法人岡崎まち育てセンター・理事事務局長)

愛知県岡崎市生まれ。専門は、市民参加のまちづくり(コミュニティー・デザイン)とメキシコの都市民衆運動史。岡崎市の公共空間の計画策定、市民活動・地域活動支援、空き家と路地を活用した都市再生等に取り組む。

主催:国際交流 NGO Viva おかざき!!

後援:岡崎市

平成28年度 文化庁「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

Viva つながるセミナー 2



「まちづくりから学ぼう！」
*Program design that produces the connection
of the Japanese classroom and regional*

日本語教育と地域のつながりを生む プログラムデザイン

日本語教室にもっと多くの人に関わってくれたらと悩んだことはありませんか？
まちづくりのプロから、地域とのつながりを生む仕掛けづくりのヒントを学びます。

講師：中脇健児氏（場とコトLAB）

- ▶ NPO 法人ワークショップデザイナー推進機構西日本理事
- ▶ 京都造形芸術大学 アートプロデュース学科 非常勤講師
- ▶ 大阪芸術大学 芸術計画学科 非常勤講師
- ▶ 天理医療大学 非常勤講師

“その場にいる人とその場だからできるコトを考える”

をモットーに、「場とコトLAB」を2012年よりゆるやかに立ち上げ、2016年本格始動。
14年間、伊丹市文化振興財団に所属し、地域と連携して手がけた「伊丹オトラク」「鳴く虫と郷町」は、いずれも街ぐるみの規模となり、10年以上続く。「遊び心」をキーワードに、アート、コミュニティプログラム、地場産業支援、教育、ワークショップなど活動は多岐に渡る。共著に『タウンマネージャー』『地域×クリエイティブ×仕事 ～淡路島発ローカルをデザインする～』（ともに学芸出版）。



2016年12月11日（日）13:30-17:30

会場：岡崎市図書館交流プラザリぶら 102 会議室（愛知県岡崎市康生通西4丁目71番地）

参加無料（定員：先着20名）

対象：日本語教育、まちづくりに興味のある人 ※他分野からの参加も歓迎！

問合せ・申込み先：viva.okazaki@gmail.com（担当：長尾）

申込み方法：件名に「Viva つながるセミナー2 申込み」、本文に氏名・所属・連絡先（電話・メール）・
受講動機を記入の上、上記のメールアドレスまでお送りください。

主催：国際交流 NGO Viva おかざき！！

後援：岡崎市

平成28年度 文化庁「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

Viva おかざき！！日本語教育事業報告会
"Viva Okazaki Annual Reporting Event"

日本語教室の可能性をひろげよう！

How to expand possibilities of Japanese class.

—「つながる」から「ひろがる」へ—



Viva おかざき！！は、
地域とつながる日本語教育
を考えるワークショップや日本語
教室を開催してきました。これまでの
活動報告と、ポスターセッションや参加
型ワークショップを通して、一緒
に地域と日本語教育について
考えてみませんか？



2017.1.22. SUN 14:30-17:30

東部地域交流センターむらさきかん第6活動室（愛知県岡崎市藤川町田中19番地）



主催：国際交流 NGO Viva おかざき！！

後援：岡崎市

平成28年度 文化庁「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

地域と日本語教育について一緒に考えてみませんか？

プログラム / PROGRAM

第1部

14:30~15:00

事業報告 / PROJECT REPORT

当団体が実施したワークショップや日本語教室の内容と成果を報告します。

第2部

15:00~16:30

ポスターセッション / POSTER SESSION

地域につながる日本語教室をされている団体によるポスターセッション実施します。

参加団体

一般社団法人磐田国際交流協会
一般社団法人かにえ子ども日本語の会
NPO 法人可児市国際交流協会
NPO 法人シェイクハンズ
NPO 法人東海外国人生活サポートセンター「らくらく日本語教室」
とよた日本語学習支援システム
NPO 法人トルシーダ
にほんごひろば／東浦通訳ボランティア
NPO 法人フロンティアとよはし

第3部

16:30~17:30

ワークショップ / WORKSHOP

参加者みなさんで、地域と日本語教室がどうつながったらいいかを考えます。

Vivaおかざき！！日本語教育事業報告会

日本語教室の可能性をひろげよう - 「つながる」から「ひろがる」へ -

日時 2017年1月22日(日) 14:30-17:30

参加費 無料

会場 東部地域交流センターむらさきかん第6活動室
(愛知県岡崎市藤川町田中19番地) ※無料駐車場あり

定員 40名(先着順)

対象 日本語教育、まちづくりに興味のある人 ※他分野からの参加も歓迎！

問合せ viva.okazaki@gmail.com (担当：長尾)

申込み 件名に「報告会申込み」、本文に氏名・所属・連絡先(電話・メール)・受講動機を記入の上、上記のメールアドレスまでお送りください。



日本語教育事業紹介冊子

つながる

から

ひろがる



はじめに

CONTENTS

Page.01	はじめに
Page.02	私たちの想い
Page.03	私たちが暮らす岡崎市
Page.04	日本に暮らす外国人の困難
Page.05	大切にしていること
Page.06,07	取組の全体図
Page.08,09	暮らしに役立つ日本語教室
Page.10	Vivaつながるセミナー
Page.11	日本語パートナー養成講座
Page.12	おわりに

おかざきし あいちけん ばんめ まんにん がいこくじん す でかせ たんきたいざい
岡崎市には愛知県で4番目、およそ1万人の外国人が住んでいます。出稼ぎなど短期滞在ではなく、
にほん えいじゅう ひと おお にほんろ にほんそだ がいこくせき じどう ふ
日本に永住する人が多く、日本生まれ日本育ちの外国籍児童もますます増えてきています。このような
じょうきょう なか も ひとびと おな ちいき す じゅうみん きょうせい しゃかい
状況の中で、さまざまなバックグラウンドを持つ人々が同じ地域に住む住民として共生できる社会づくり
ひつよう
が必要になってきています。

にほんごきょうしつ まな がいこくじんじゅうみん じぶん い い く
Viva おかざき!!の日本語教室は、ことばを学ぶだけでなく、外国人住民が自分らしく生き生きと暮
じりつ ちいき いっしょ ささ そんざい おこな もくてき
らし、自立をして、地域と一緒に支えていける存在になるためのサポートを行うことを目的にしています。
がいこくじん ちいき ぶんか じょうほう ふ にほんじんじゅうみん そうごりかい ぶん きょう
そのため、外国人が地域につながり、文化や情報に触れ、日本人住民と相互理解を深めるため、教
しつ わく こ ちいき たぶんや とりくみ せつきよくてき おこな ねんど く やく
室の枠を越えて地域や他分野につながる取組を積極的に行ってきました。2016年度は、「暮らしに役
だ にほんごきょうしつ にほんご にほんごきょうせい
立つ日本語教室」、「Vivaつながるセミナー」、「日本語パートナー（ボランティア）養成講座」の3つ
かつどう はしら ちいき たぶんかきょうせい きばん にほんごきょういく かたち もさく
の活動を柱に、「地域の多文化共生のプラットフォーム（基盤）」としての日本語教育の形を模索してき
とりくみ ねんれい そくせい こと ちいきじゅうみん ま こ たようい
ました。どの取組でも、年齢も属性も異なる地域住民を巻き込む“まちづくり”のノウハウや、多様な意
けん き さんがた しゅほう かつよう にほんごきょういく めざ
見を聞ける“ファシリテーション”や“参加型”の手法を活用し、「つながる日本語教育」を目指しました。
こんかい かつどう ちいき たぶんかきょうせい に
今回、Vivaおかざき!!としての活動をふりかえり、「地域の多文化共生のプラットフォームとしての日
ほんごきょういく かのうせい ちいき ていあん おも さっし さくせい ちいき じょうきょう
本語教育」の可能性を地域に提案していきたいと思い、この冊子を作成しました。地域によって状況
こと おも いしき も かつどう にほんごきょういく ちいき は やくわり
は異なると思いますが、「つながる」意識を持って活動することで、日本語教育が地域で果たせる役割
ひろ を広げていくことができると感じています。日本語教室を運営している団体、行政、ボランティアとして
かつどう かた ちいき く じゅうみん ひとりひとり いしき
活動されている方、地域に暮らす住民のみなさん、1人1人の「つながる」意識が「ひろがる」ことで、
にほんごきょういく とお ちいき たぶんかきょうせい すず ねが
日本語教育を通して地域の多文化共生が進んでいくことを願っています。

Vivaおかざき!!

にほんご きょういく
日本語教育からはじまる
 ちいき たぶんか きょうせい
地域の多文化共生



VISION 私たちの想い

Vivaおかざき!!では、言語習得だけではなく、日本人住民と外国人住民の相互理解の輪を広げ、「地域の多文化共生の出発点・育む場になるプラットフォーム（基盤）」を目指して日本語教育に取り組んでいます。

Vivaおかざき!! 団体概要

- 設立年月日 2010年9月23日
- 主な事業
- 外国人住民向けセミナー（防災、教育など）
 - 日本語教室（子ども、大人）
 - 地域行事参加、交流イベント
 - 多文化コーディネーター育成
- 主な協働先
- 外国人コミュニティー（ブラジル、中国、フィリピン）、行政など



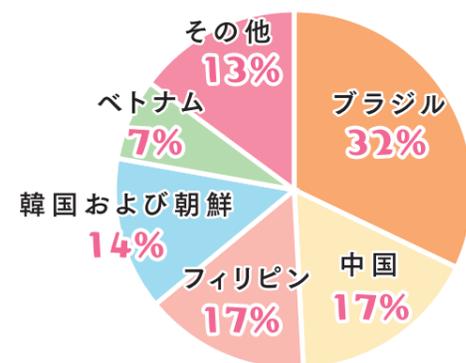
私たちが暮らす岡崎市 2017年1月1日時点(岡崎市調べ)

岡崎市の人口

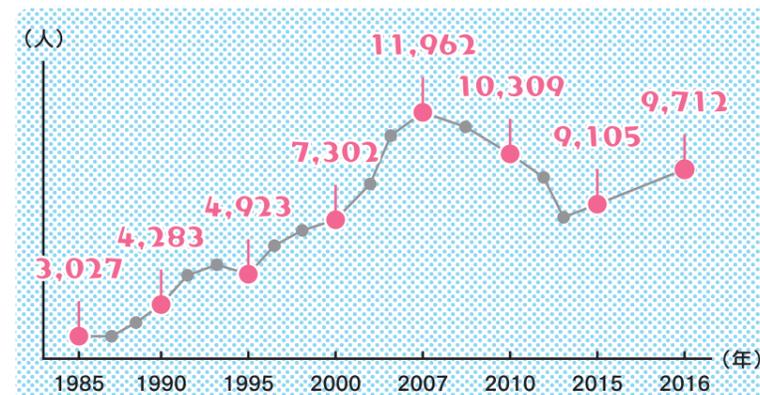
総人口 **384,659人**

在住外国人人数 **9,712人** (人口比率で40人に1人)

岡崎市の外国人



国籍別割合



在住外国人数の推移



日本に暮らす外国人の困難

外国人住民が日本で生活する上で、さまざまな困難があります。



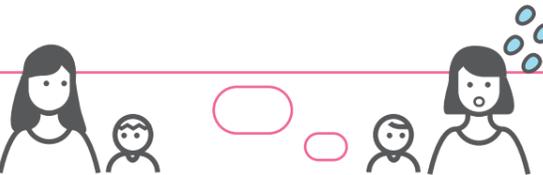
「砂糖はどれ？」

日本に来たばかりの時、スーパーに行っても、日本語でしか表示がないと自分がほしいものを探すのも大変だった。砂糖だと思って買った塩で、料理を大失敗したこともあった。



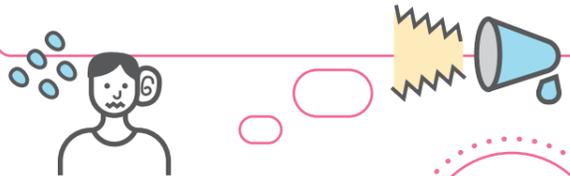
「ママ友をつくりたいけど…」

子どもが日本の保育園に入るから、日本人の友達をつくりたいと思ったけど、どこに行ったらいいかわからなかった。結局、ママ友ができないまま、保育園に入園した。



「このサイレンって何!?!」

水害の時、避難勧告のサイレンがなっていただけ、何のことかわからず、周りに誰も聞く人がいなかった。次の朝、家のすぐ近くまで浸水していて危ないところだったと知った。



「自分だけ回覧板がこない」

日本語ができて、外国人だからきっと読めないだろうと回覧板を飛ばされていた。ある日、電気工事があることを知らず、電気が急に使えなくなってビックリした。

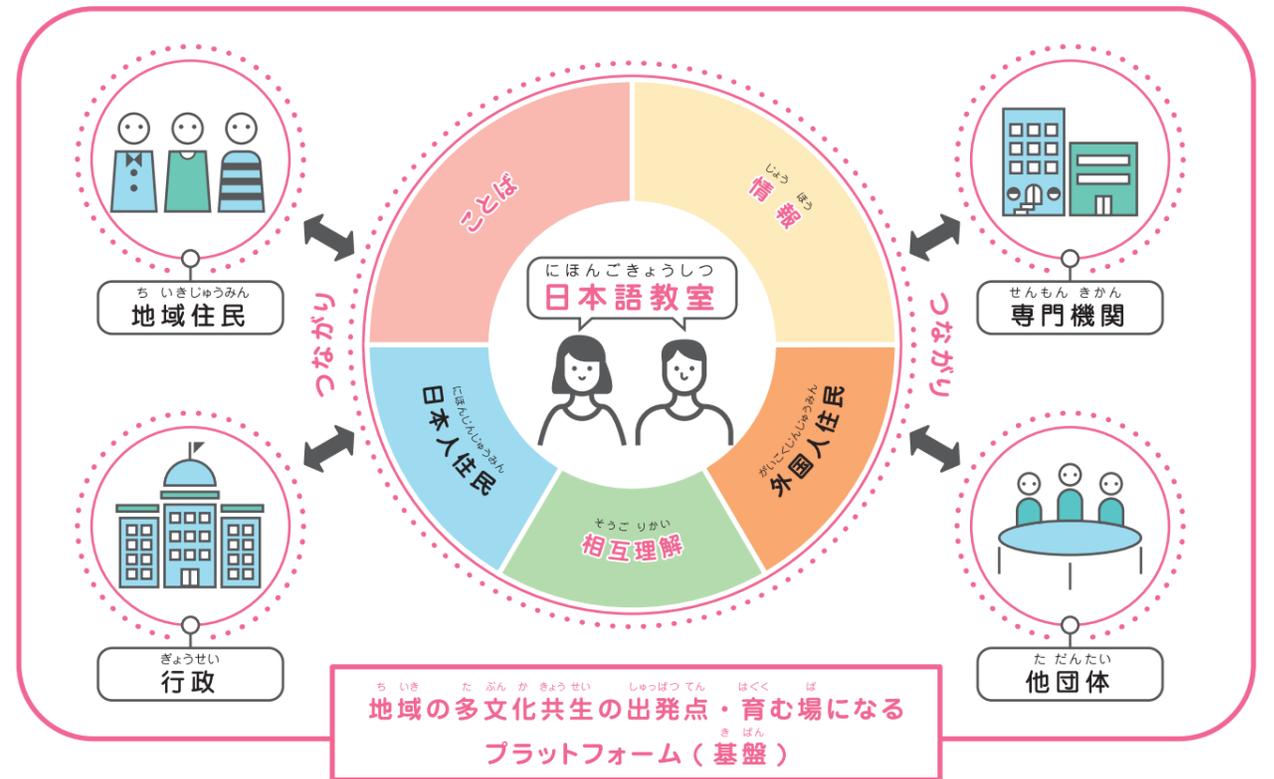


大切にしていること

日本語教室は、外国人住民にとっての言語習得の場になるだけでなく、日本人住民にとってもさまざまな文化・情報に触れる場になり、地域に相互理解の輪を広げることができる。

「ことば」「情報提供」「つながり」「相互理解」の4つは、日本人住民と外国人住民が共に暮らしていく社会（多文化共生社会）をつくる上で重要な要素になります。この4つの視点から日本語教室を考えると、日本語教室は以下の可能性を持っています。

- ことば** 日本語だけでなく外国語など、さまざまな言語に触れる機会をつくる
- 情報** 文化や習慣について伝えたり、生活や災害についての情報を提供する
- つながり** 教室内の交流、地域や専門機関と連携をして、つながりの輪を広げる
- 相互理解** 外国人住民と日本人住民のかけ橋になり、理解を深めるきっかけを作る



Viva おかざき!!では、日本語教室が「地域の多文化共生の出発点・育む場になるプラットフォーム（基盤）」として機能することを目指し、次の3つのプログラムを実施しています。

せいかつ
生活につながる
はっけん
発見がいっぱい!

ち いき ぜんたい まな ば
地域全体が学びの場



しや ひろ
視野を広げる

じっせん
実践



- PROGRAM -

く やくだ
暮らしに役立つ
にほんご きょうしつ
日本語教室

がいこくじん
外国人も
できることがある!

がいこくじんじゅうみん
外国人住民も
ちいきかつやく
地域で活躍



じぶん にほんご じしん
自分の日本語に自信がついた

にほんじんじゅうみん
日本人住民から
い にほんご まな
生きた日本語を学ぶ



さんか
参加

さんか
参加

こんど
今度やってみよう!

つながるノウハウを学ぶ
まな
セミナー実施



Welcome!



- PROGRAM -

Viva
つながるセミナー



じっせん
実践

さんか
参加

ち いき あつ
地域の集まりに
さそ
誘ってみよう!

ち いき がいこくじん
地域と外国人の
か はし
架け橋になる
じんざい いくせい
人材の育成

- PROGRAM -

にほんご
日本語パートナー
ようせいこうざ
養成講座



PROGRAM **暮らしに役立つ日本語教室**

PURPOSE
目的

外国人住民が、自分らしく生き生きと暮らし、自立をして、
地域を一緒に支えていける存在になるためのサポートを行う。



POINT 1 外国人住民が知識・情報を得ることができる

- 実生活につながる教室活動のテーマ設定（例：スーパーでの買い物）
- 専門機関と連携した授業（例：消防署によるAED講習）

POINT 2 さまざまな人と交流できる

- 活動、会話補助のためのボランティア“日本語パートナー”の導入
- 教室の外で活動したり、外から教室に来てもらう行動・体験型教室の実施

Vivaおかざき!!では、以下の3つの日本語教室を実施して、
外国人住民をサポートしています。

生活に役立つ日本語教室

- 実生活につながる日本語と生活知識を学ぶことで、日本社会でできることを増やす
- 実際に“行動・体験”することで学びを深める
- 教室の外に出て活動したり、外から教室に来てもらうことで、地域との接点を持つ



VOICE ~参加者の声!~
外国人が日本の生活のことを習うことは、必要なことだと思います。
教科書にはのっていない生活のことを学習しながら、楽しく日本語も勉強できました。



生活に役立つよみかき教室

- 読み書き能力を育成して、社会的な自立を目指す
- デジタル・ストーリーテリング（※）を活用した自己表現の場づくり
- 地域住民の外国人住民への理解を深める

※ デジタル・ストーリーテリングとは、アメリカで生まれ、世界に広まっている社会教育活動の1つで、参加者が体験を語り、自分物語のフォトビデオをつくる活動。



VOICE ~参加者の声!~
日本語で文章を書くことは、とてもむずかしかったです。映像を何度も直したりするのは大変でしたが、日本語パートナーさんが優しく手伝ってくれました。映像が完成した時は、すごくうれしかったです。



支援に役立つ日本語教室

- 緊急時・災害時に支援者になるための日本語と知識を学ぶ
- 専門機関と連携した実践的な知識の習得
- 外国人も「支援する」側になれることを地域に発信する



VOICE ~参加者の声!~
日本に来て一番心配していることが、地震のことでした。今まで大きな地震にあつたことがないので、どうやって対応するのかあまり知らなかったのですが、すごく勉強になりました。困っている人がいたら、助けたいと思います。



PROGRAM

Vivaつながるセミナー

PURPOSE
目的

外国人住民と日本人住民がともに地域参加できる環境づくりのために
日本語教室が地域で果たせる役割について考える機会をつくる。



POINT

1 地域と事業が「つながる」優良事例を知る

- 学びの場としての「地域」を考える
- 日本語教室でできることを増やす

POINT

2 他分野のノウハウを活かす

- まちづくり／アート等で活躍する講師によるワークショップから学ぶ
- 違う角度から活動のヒントを発見する

VOICE ~参加者の声!~

講師の方のお話を聞いたり、他の参加者と意見交換をする中で地域での日本語教室の活動について考えるいい機会になりました。ワークショップも楽しく、新しい気づきがたくさんありました。



森下 裕介 さん

PROGRAM

日本語パートナー養成講座

PURPOSE
目的

地域日本語教育の担い手であり、外国人住民を理解して地域で支える、架け橋となる人材の育成を行う。



POINT

1 日本語学習支援の能力を伸ばす

- ワークショップで日本語パートナーとして必要な知識を学ぶ
- 教室活動に実際に参加をして、実践する

POINT

2 相互理解を深め、外国人住民に寄り添う姿勢を身に付ける

- 学習者としてではなく、地域の住民として交流を持つ
- 教室の枠を越えて、外国人住民の背景に目を向ける

VOICE ~参加者の声!~

実際に授業に参加したり、講師の方から“聴く力”などの話を聞く中で、日本語パートナーとしての役割を具体的にイメージすることができました。外国人のみなさんと、もっと関わりたいという気持ちになりました。



杉山 みゆき さん

🧩 おわりに

「多文化共生」とは、さまざまなバックグラウンドを持つ住民がどうやって共に暮らす方法を見つけていくかということだと思っています。つまり、外国人住民が日本で生活をするということは、国際交流をして「文化が違ってても素敵だね」では終わらず、仕事もしなければいけないし、子どもを学校に通わせたり、時には病院にも行かなければいけません。1人1人には生活があるのです。生活の中にはもうすでに「他分野」があり、いろいろな分野に関わりながら自分の生活を成立させなければいけません。だから、Vivaおかざき!!では、日本語教育と他分野がつながる取組を積極的に行うことで、「地域の多文化共生のプラットフォーム」として形を模索してきました。

活動を通して一番感じたことは、地域にはたくさんの生かすべき人材がいるということでした。特に、外国人住民は常に助けられる側ではなく、彼らも地域を支える側になれることは強く感じました。災害時に支援者になるための「支援に役立つ日本語教室」での学習者の熱心な態度や、日本語が上手な外国人住民が「日本語パートナー」として教室でも活躍している様子は、本当に頼もしかったです。また、多くの日本人住民のみなさんが「Vivaつながるセミナー」や「日本語パートナー養成講座」に参加していただき、これだけ地域の多文化共生に関心を持ち、関わってくれる人がいることを心強く感じました。そして、日本語教育には関係のない専門家の方々にもご協力をいただき、たくさんの発見をすることができました。今まで感覚的だったことが、その分野の専門家の方々によって、はっきりと学びになっていくことで、普段の活動をより良いものにすることができました。関係ないと決めつけず、つながることで可能性や関係性がひろがっていくことを実感しました。

今回の冊子では、Vivaおかざき!!がどのような点を意識して「つながる」取組をしたのかを中心にまとめました。要素を出しただけで、分かりにくい点もあるかと思いますが、私たちのような小さな団体でも、周りのみなさんにご協力いただきながら、想いを形にすることができたことは、1つの成果だと感じています。ぜひ同じ地域に暮らす日本人住民と外国人住民が生き生きと暮らせる社会のために、見えない枠にとらわれず、他分野とつながる活動がたくさん地域にひろがっていくことを期待しています。

Vivaおかざき!!

Vivaおかざき!!

〒444-0045 愛知県岡崎市康生通東2丁目22-1

TEL 050-5891-8917

E-mail info@viva-okazaki.com

HP <http://viva-okazaki.com/>

平成28年度文化庁「生活者としての外国人」のための日本語教育事業



日本語教育
×
まち

